

伊賀市流の地域共生社会の実現をめざし

第4次伊賀市地域福祉計画を策定します

地域福祉計画とは

地域福祉計画とは、「ふだんのくらしのしあわせ」を実現するための登山計画のようなものです。頂上までのルートや持ち物を念入りに計画し、登山の主人公である市民の皆さんと共に、めざすべき地域福祉の頂上へ一歩一歩登っていくことを考えています。

第3次計画までの中で、いくつかの頂上（目標）に登達し、伊賀市らしい地域福祉の眺めを見ることができませんでした。

第4次計画は、これまで登ってきた道を振り返りつつ、改めて伊賀市らしい地域福祉の山頂を、皆さんと一緒に考えながらめざしていく所思います。

※計画策定にあたり作成した説明動画中の、地域福祉計画推進委員会委員長、皇學館大学板井正斉教授のあいさつより抜粋。

見えてきた課題

第3次計画では、地域福祉のさまざまな課題に対応するため、地域の課題を地域住民が主体的に解決していく場である地域福祉ネットワーク会議の設置や、各支援機関が連携して地域支援をするためのネットワークづくりなどを行ってきました。

- 地域での支え合い基盤の弱体化
- 相談件数の増加、相談内容の多様化・複合化
- 対応が困難な相談事案の増加
- 人材・資源・制度などの活用が不十分
- 福祉サービスなどに関する情報の周知や啓発の不足 など



課題への対応

第4次計画では、課題解決のため、これまで築き上げてきた地域福祉ネットワーク会議を基礎としながら、地域活動が行われる場づくりや、高齢者・障がい者・子育て・生活困窮者などの分野ごとに分かれていた相談などの支援を、一体的に行う重層的支援体制を整備し、伊賀市流の地域共生社会をめざします。



第4次計画 理念と戦略

第4次計画では「ひとりひとりが支え合いつながりあいながら、いきいきと暮らせるまちづくり」を理念に掲げ、地域共生社会の実現に取り組みます。

理念を達成するため、「3つの戦略」を柱とし、戦略に基づいて「4つの支えと4つの安心」と「6つの充実」という重点施策を定めます。

基本理念「ひとりひとりが支え合いつながりあいながら、いきいきと暮らせるまちづくり」

戦略①

地域の力を高める

戦略②

地域と専門機関をつなぐ

戦略③

専門機関の力を高める

重点施策

4つの支え

高齢者支援 障がい者支援 子育て支援 生活困窮者支援
「包括的に相談を受け止める」「社会とのつながりが薄い人を社会とつなげる」
「地域において住民が集う居場所づくり」などの支援を一体的に行う

4つの安心

住まい 地域医療 健康づくり 暮らし(交通・人権・多文化共生・文化)
市民が安心して生活できるよう、ネットワークを構築する

6つの充実

みんなでつくる地域福祉コミュニティ
地域福祉ネットワーク会議をベースにしたこれからの地域づくり

多機関の連携による福祉の「わ」づくり
多機関が連携する地域づくりの取り組み

つながりあえる地域づくり
地域で支え合いつながっていく基盤や関係づくりを強化する

安心と安全のまちづくり
困りごとがあっても安心して暮らすことができる環境をつくる

これからの人材を育成するしくみづくり
持続可能な地域づくりのために、地域の担い手を育成する

生きづらさを抱えた人に寄り添う社会づくり
何らかの原因で生きづらさを抱えている人の生きづらさを軽減する

【問い合わせ】

医療福祉政策課

☎ 26・3940

FAX 22・9673

✉ inyoutukushi@city.iga.lg.jp



◆今後の予定

現在、第4次伊賀市地域福祉計画の策定をめざし、中間案を作成しています。

その中間案について、皆さんからご意見をいただくためのパブリックコメントの募集を予定しています。パブリックコメントの募集期間などが決まり次第、市ホームページなどでお知らせします。



会議のほか、ワークショップなども行っています。

地域福祉ネットワーク
会議の様子

